

バングラデシュ人民共和国

メグナグムティ橋建設計画
基本設計調査報告書

平成2年11月

国際協力事業団

JICA LIBRARY



1091467(9)

22481

バングラデシュ人民共和国

メグナグムティ橋建設計画
基本設計調査報告書

平成2年11月

国際協力事業団



国際協力事業団

22481

序 文

日本国政府は、バングラデシュ人民共和国政府の要請に基づき、同国のメグナグムティ橋建設計画にかかる基本設計調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施した。

当事業団は平成2年5月17日より同年6月30日まで、本州四国連絡橋公団設計部設計第一課長 辰巳正明氏 を団長とする基本設計調査団を現地に派遣した。

調査団は、バングラデシュ人民共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における調査を実施し、帰国後の国内作業、報告書案の現地説明を経て、ここに本報告書完成の運びとなった。

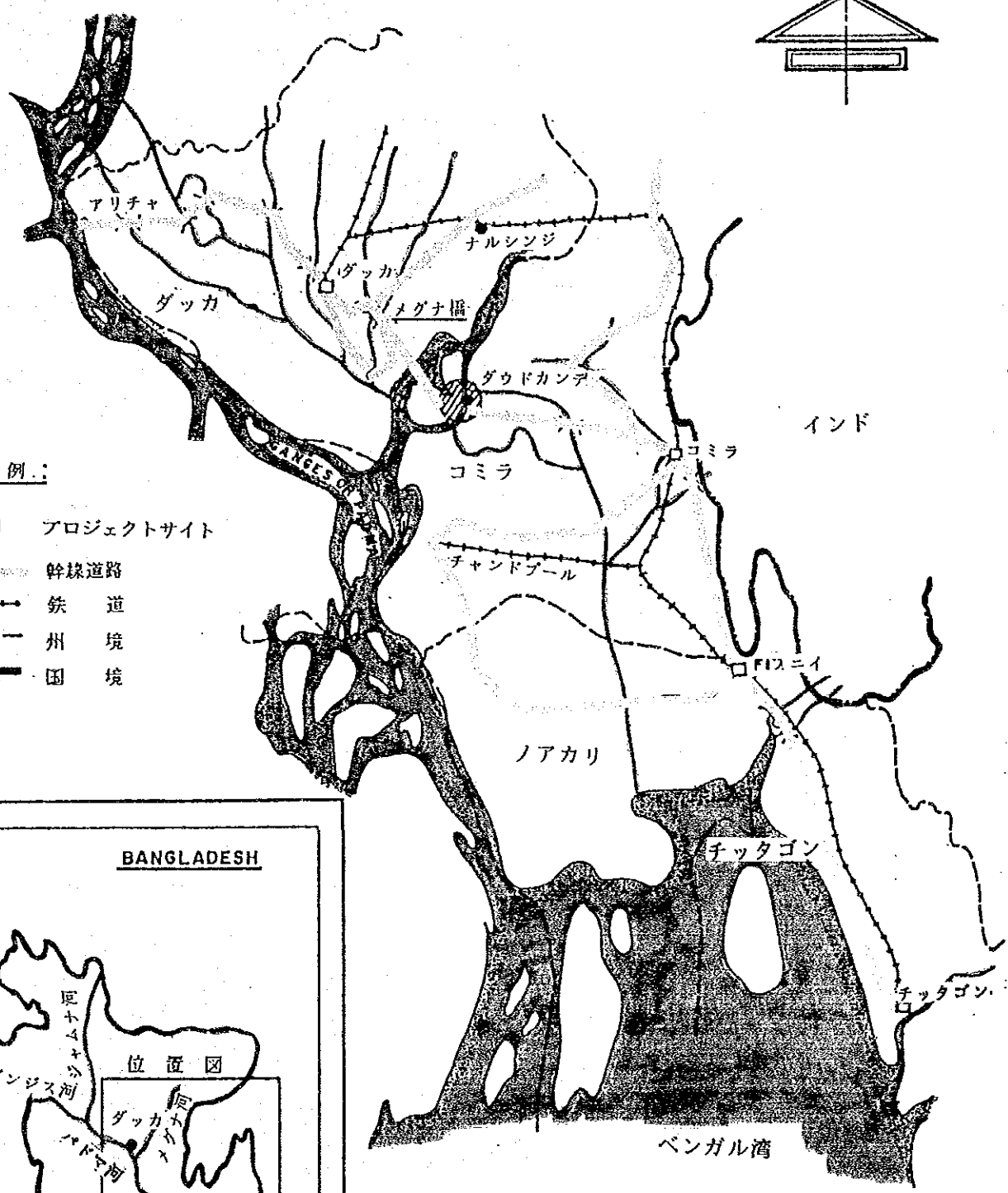
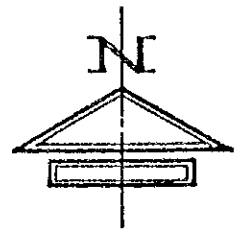
本報告書が、本プロジェクトの推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものである。

終りに、本件調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝の意を表するものである。






平成2年11月

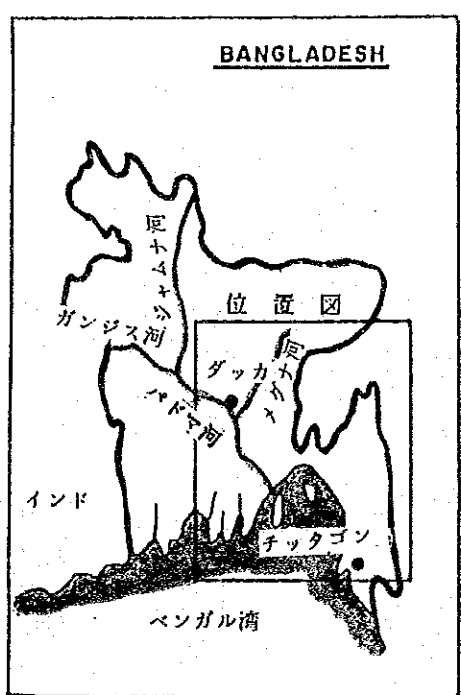
国際協力事業団

総裁 柳谷謙介

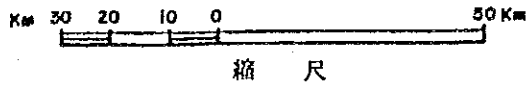


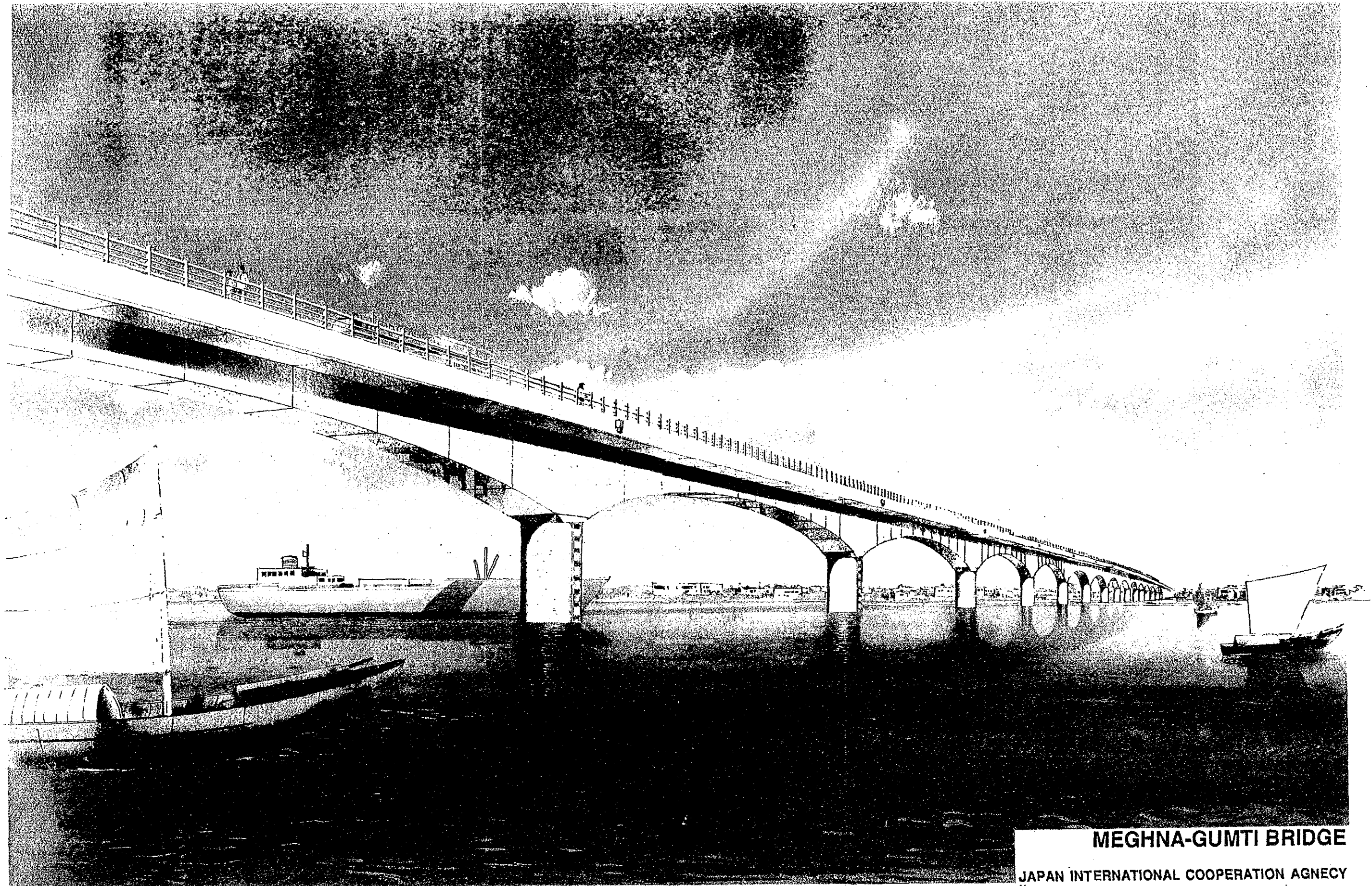
凡例:

-  プロジェクトサイト
-  幹線道路
-  鉄道
-  州境
-  国境



メグナ-グムティ橋架橋位置図





MEGHNA-GUMTI BRIDGE
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

メグナグティ橋設計概念図



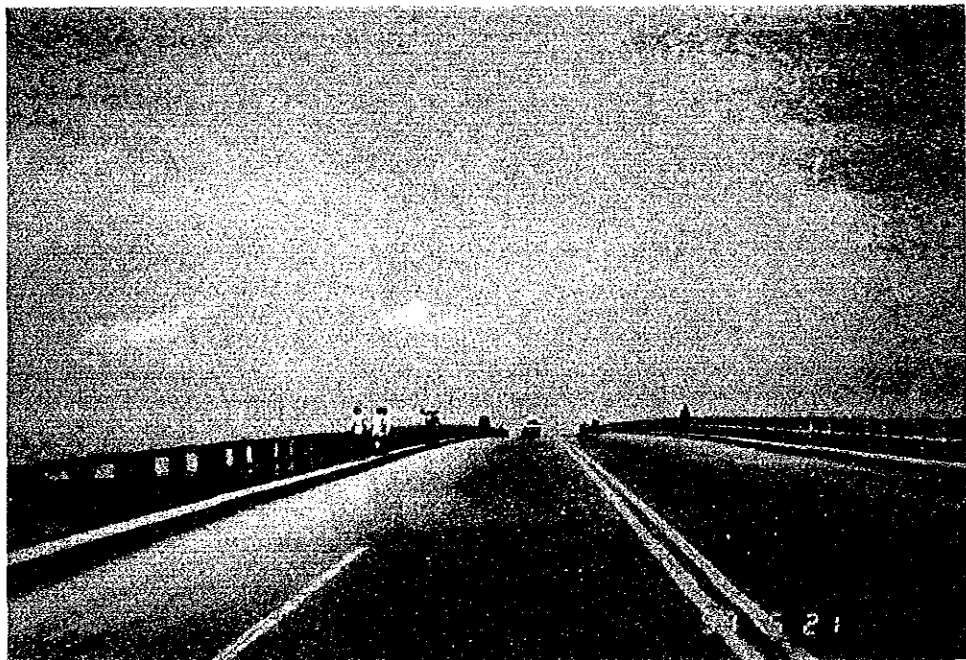
ダッカ～チッタゴン国道の現況
(ダッカ～シタラキヤ間の拡幅工事)



ダッカ～チッタゴン国道の現況
(ダッカ～シタラキヤ間の拡幅工事)



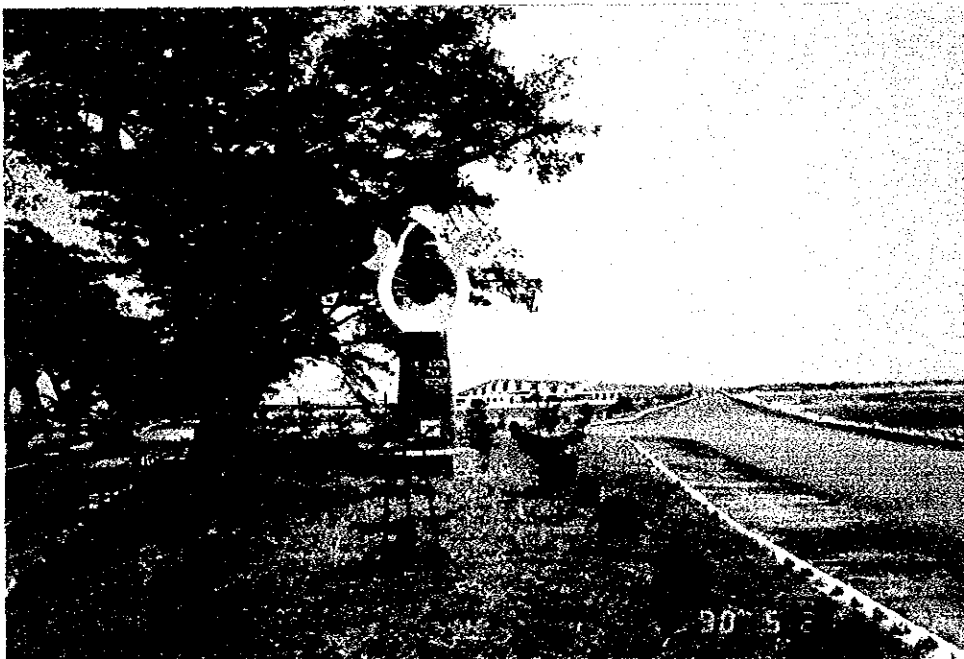
ダッカ～チッタゴン国道の現況
(シタラキヤ橋を過ぎると道路幅は急に狭くなる)



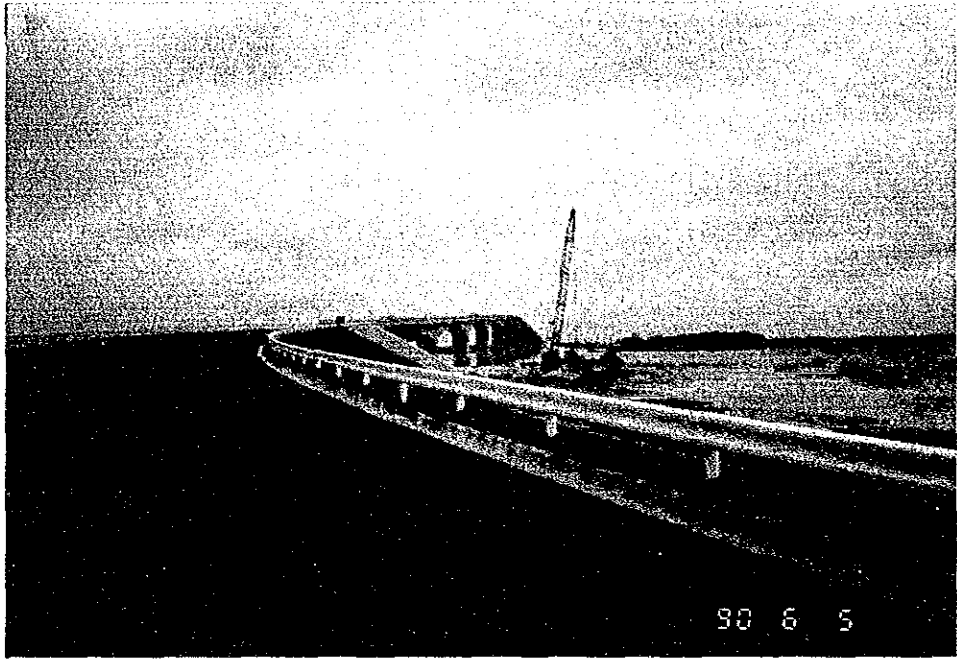
シタラキヤ橋
(ダッカより約14km、このあたりまで市街化が進みつつある)



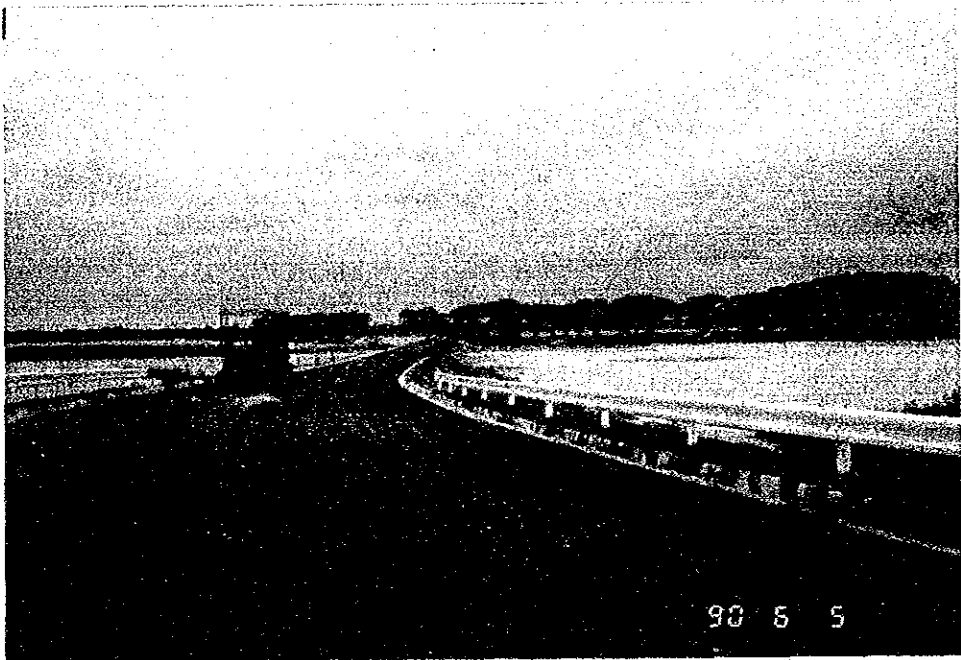
メグナ河フェリー



ダッカ～チッタゴン国道の現況
(メグナ橋はダッカより約26km、左側が現
国道で右側は新設のメグナ橋取付道路)



メグナ橋
(コミラ側、工事最終段階)



メグナ橋
(ダッカ側、工事最終段階)



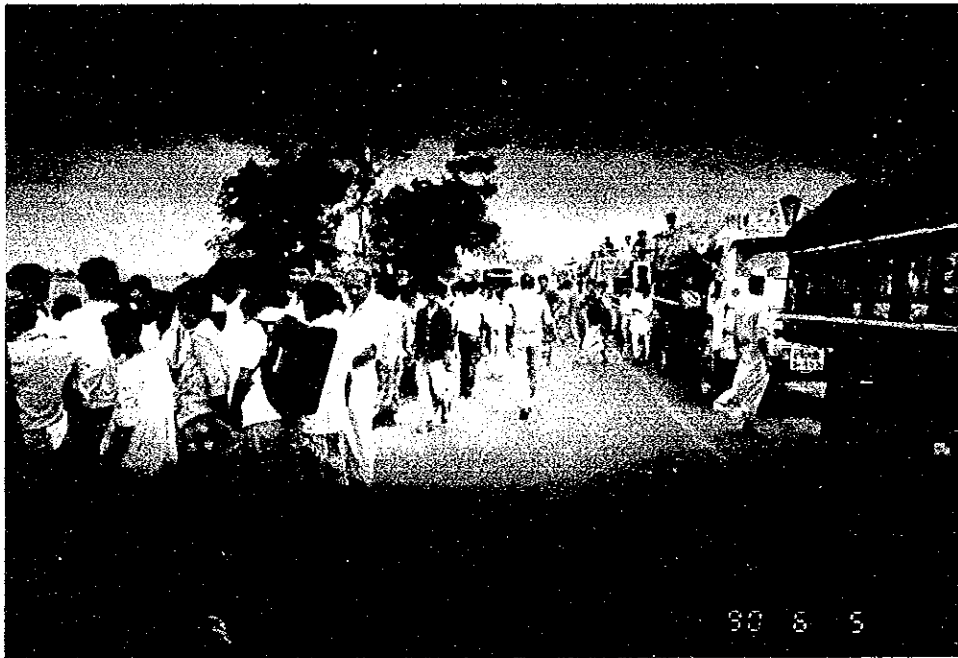
メグナ・フェリーを待つトラック
(同じ橋の上からフェリー・ガットと反対の方向)



メグナ・フェリーを待つトラック
(フェリーはバス・乗用車優先のためトラックの列ができる。フェリー・ガットは約1km前方にある)



交通事故現場

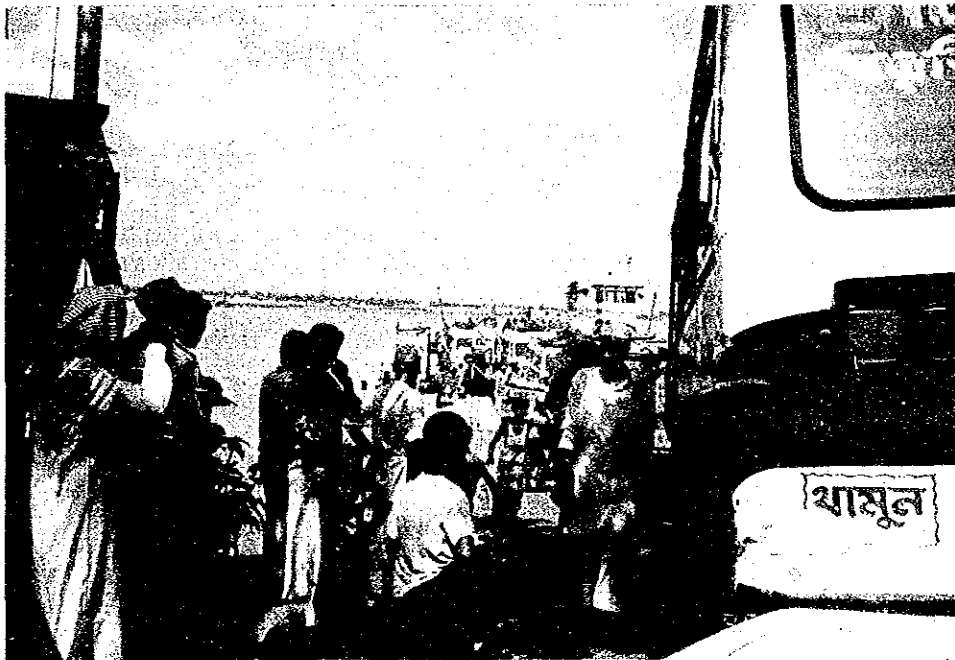


交通事故現場

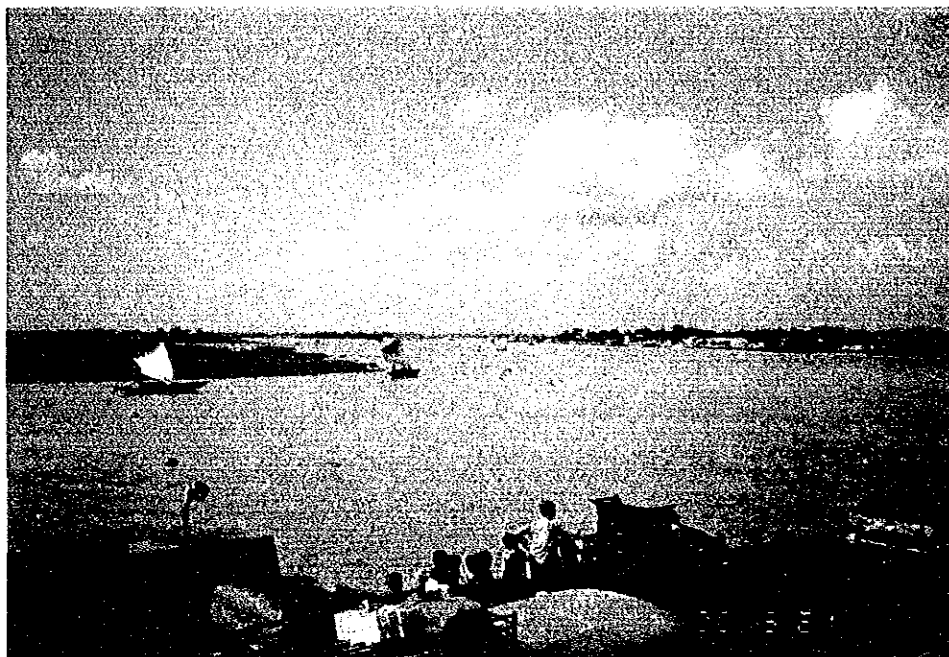
(トラックの列ができ、残る車道をバス・乗用車がわれ先とフェリーに突進するため、こんな事故がおこる)



メグナグムティ河フェリー
(コミラ側ガットに向けて出航)



メグナグムティ河フェリー
(ダッカ側ガットで乗船開始)



本計画架橋地点付近の状況
(中 洲)



本計画架橋地点付近の状況
(架橋中心線は中洲付近で現フェリー
航路の約 150m 上流側)



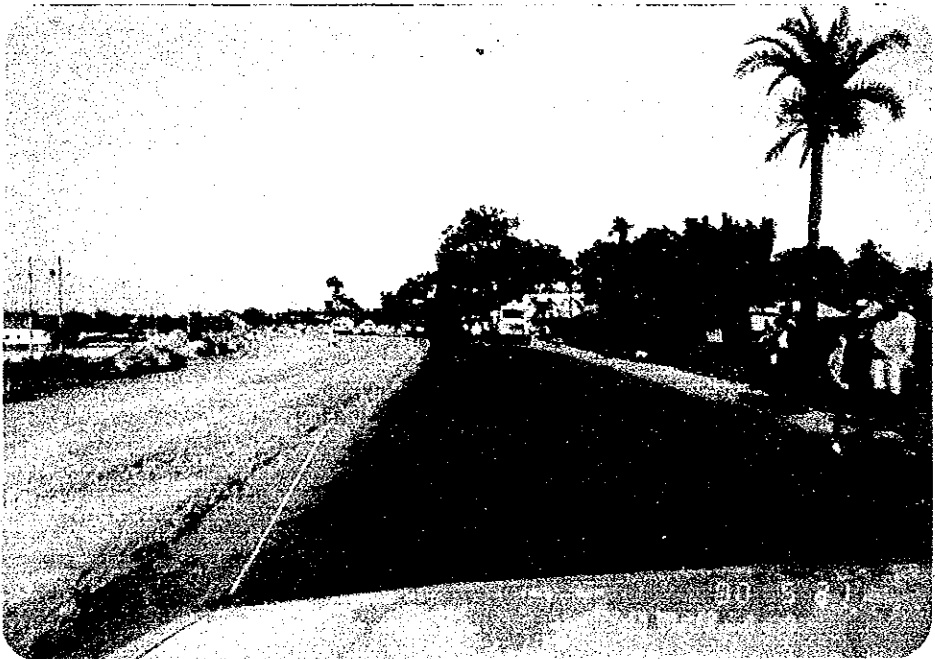
ダッカ～チッタゴン国道の現況
(チャンディナ・バイパス、メグナグムティ橋
の約20km東方)



ダッカ～チッタゴン国道の現況
(写真は本計画コミラ側取付道路終点付近、
1991年6月までに写真上のごとく工事完了予定)



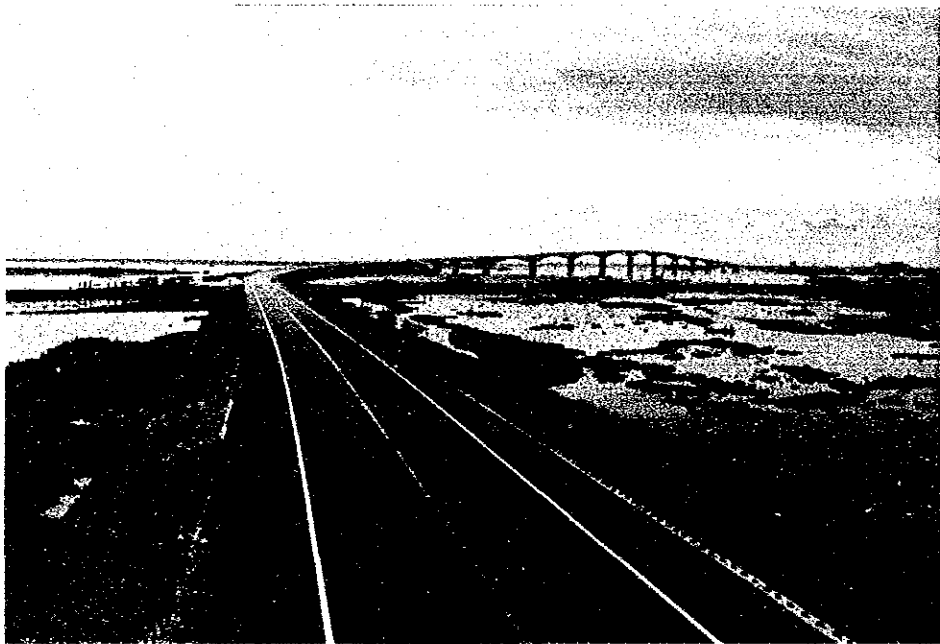
ダッカ～チッタゴン国道の現況
(コミラ付近、ADBの第1次道路改良計画で工事中)



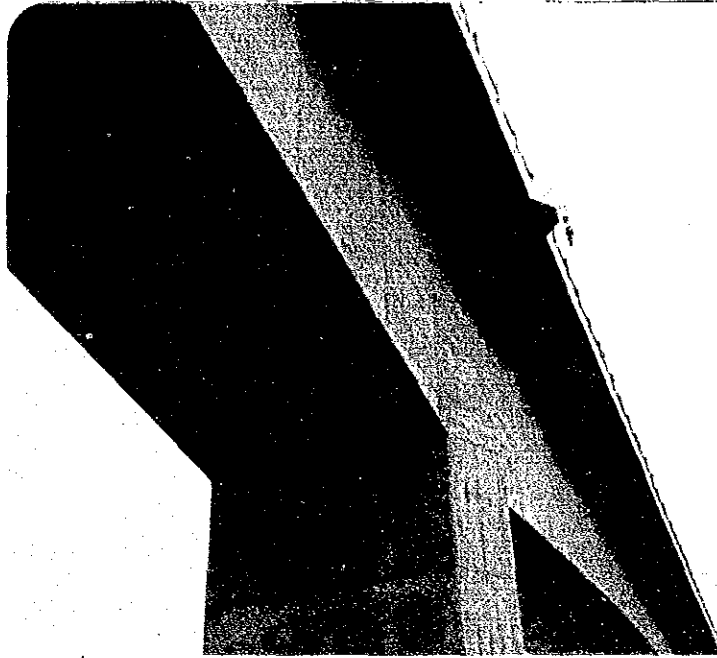
ダッカ～チッタゴン国道の現況
(コミラ付近、ADBの第1次道路改良計画で工事中)



メグナ橋



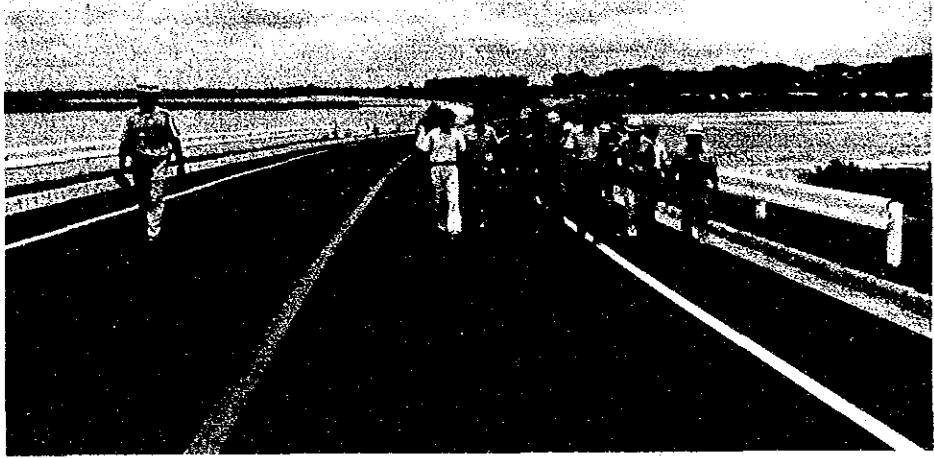
メグナ橋
(コミラ側より望む)



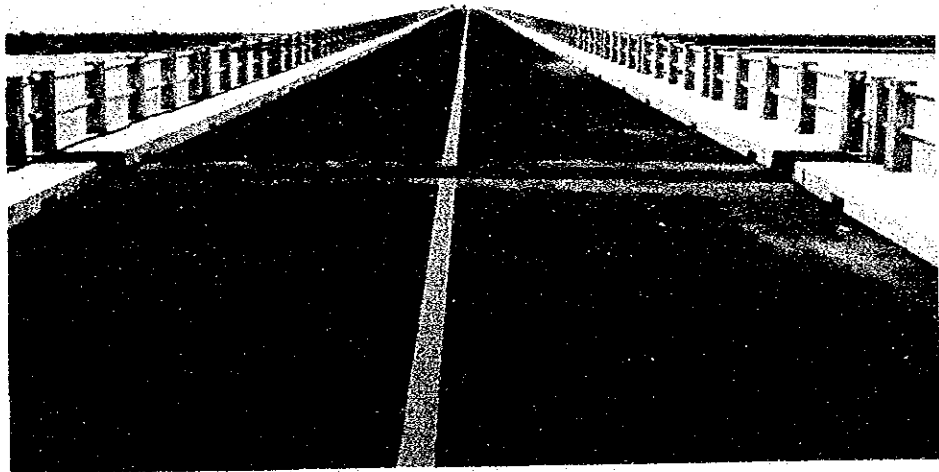
メグナ橋
(橋脚と箱桁の接合部)



メグナ橋
(ダッカ側橋台からコミラ方を望む)



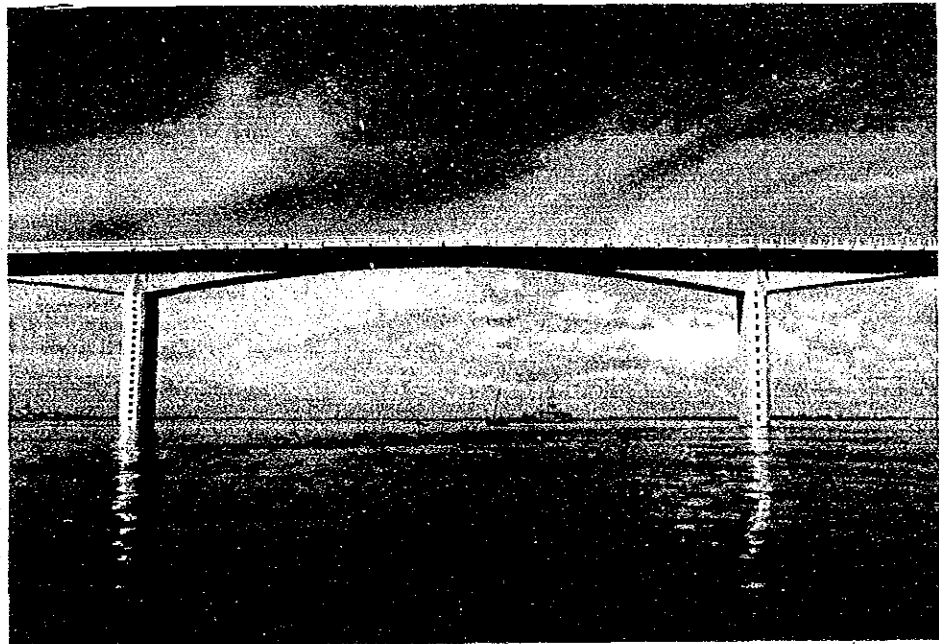
メグナ橋
(取付道路)



メグナ橋
(橋面舗装)



メグナ橋
(航路灯)



メグナ橋
(桁下空間を示すゲージ)

